

## 第2章 地域特性の現況

### 2.1 地域概況

#### (1) 概況

本町は、佐賀県の東端に位置しており、南・西は鳥栖市、北は福岡県筑紫野市、東は福岡県小郡市に接し、佐賀県の東の玄関口となっています。

町の20～30km圏内には、佐賀市、福岡市、久留米市が位置しており、JR基山駅と主要駅であるJR佐賀駅、JR博多駅、JR久留米駅とは、15分から30分で結ばれる通勤圏内であり、福岡都市圏に勤めている町民も多い状況です。

町の東側には九州自動車道、南側には長崎自動車道が通り、北側には基山パーキングエリア(以下、基山PA)も位置するなど交通至便な地理的位置にあります。



図 2-1 周辺市町へのアクセス

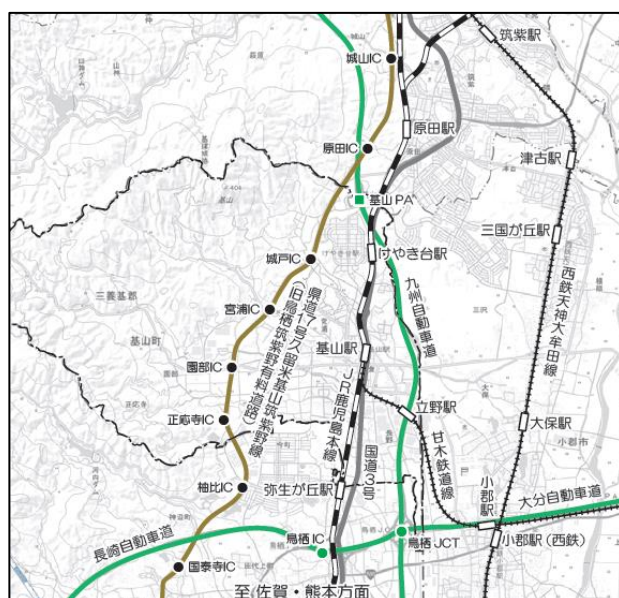


図 2-2 主な幹線道路

出典:基山町歴史的風致維持向上計画(平成31年1月)

(2)地勢・地形

本町は、面積の3分の2にあたる北・西部域を山地と丘陵地が占めています。東部域に平地を有しますが、全体的に平地が少ない地形となっています。町内の山地は脊振山系の東端にあたり、北西部の権現山から契山、基山等の山が連なっており、特別史跡基肄城跡が位置する基山は、町民にとってシンボリックな山となっています。

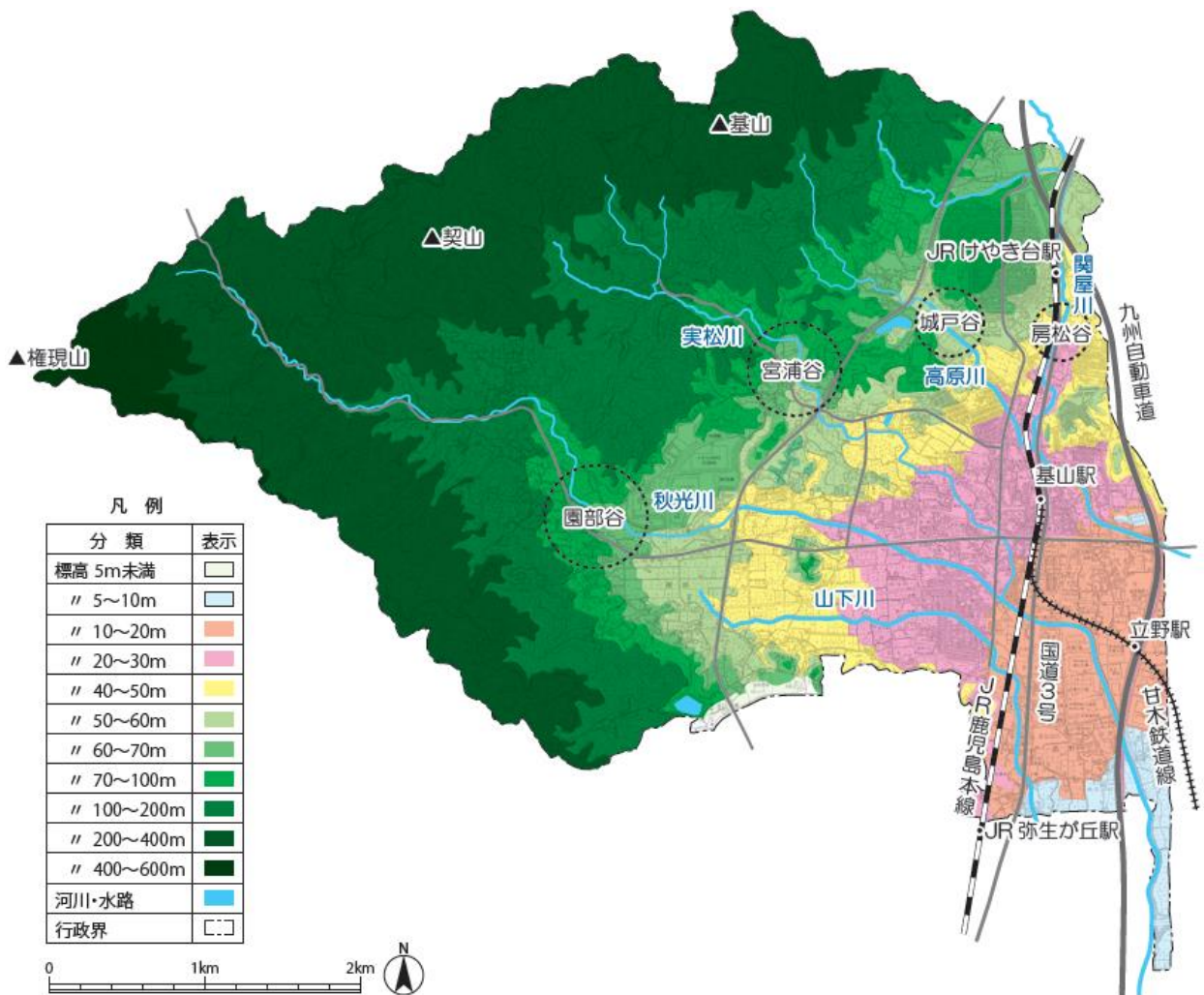


図 2-3 地形分類

出典：基山町歴史的風致維持向上計画(平成 31 年 1 月)

## 2.2 人口特性

### (1)人口および高齢化率

基山町の人口は、平成12年の19,176人をピークに減少傾向となっており、平成27年の国勢調査の結果を基にした推計によると、令和22年の人口は14,685人にまで減少します。また、高齢化率は年々増加傾向にあり、令和22年度には約42%にまで上昇すると推計されています。

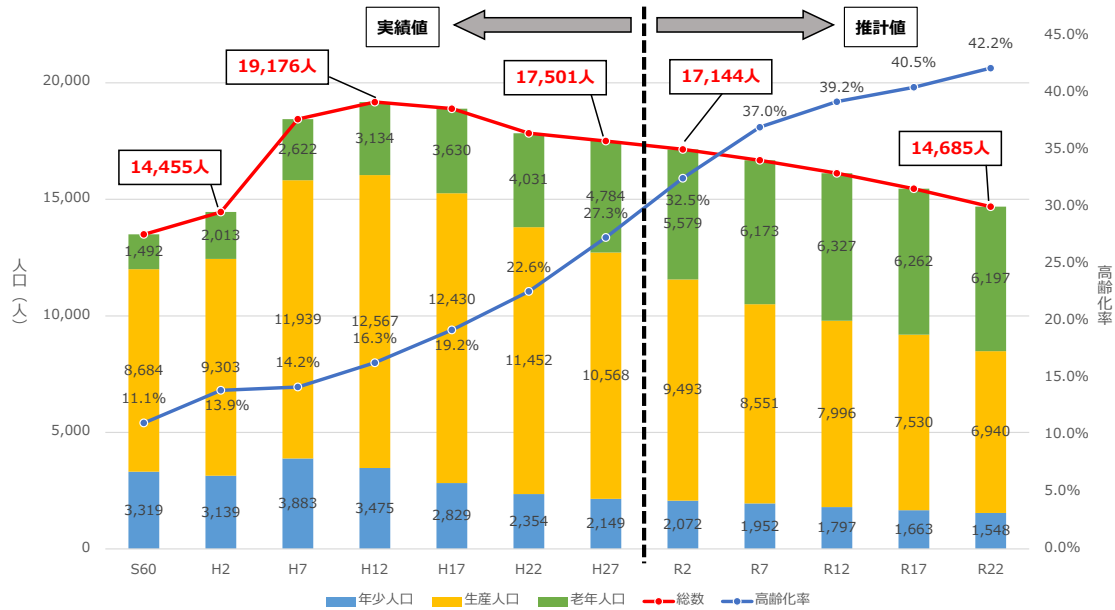


図 2-4 基山町全体の人口動向・推計(社人研ベース)

データ: 国立社会保障・人口問題研究所推計(令和2年以降は推計値)  
 (平成27年国勢調査の結果を基に平成29年推計)  
 出典: 基山町立地適正化計画(令和3年3月)

一方、基山町では、平成 28 年以降、移住定住施策を重点的に実施しており、若者や子育て世代への住宅取得支援や子育て環境の向上など、住環境整備を推進してきました。

そこで、最新の住民基本台帳データを参考に、平成 27 年度から令和 3 年度までの人口減少率を見てみると、平成 27 年の国勢調査結果ベースの 2.0%減少に対し、1.1%減少にとどまっています。また、平成 27 年の国勢調査の結果ベースでは減少が見込まれていた年少人口比率(15 歳未満)は増加に転じています。移住定住施策の推進により、人口減少や高齢化の進展は推計値よりも緩やかになっています。

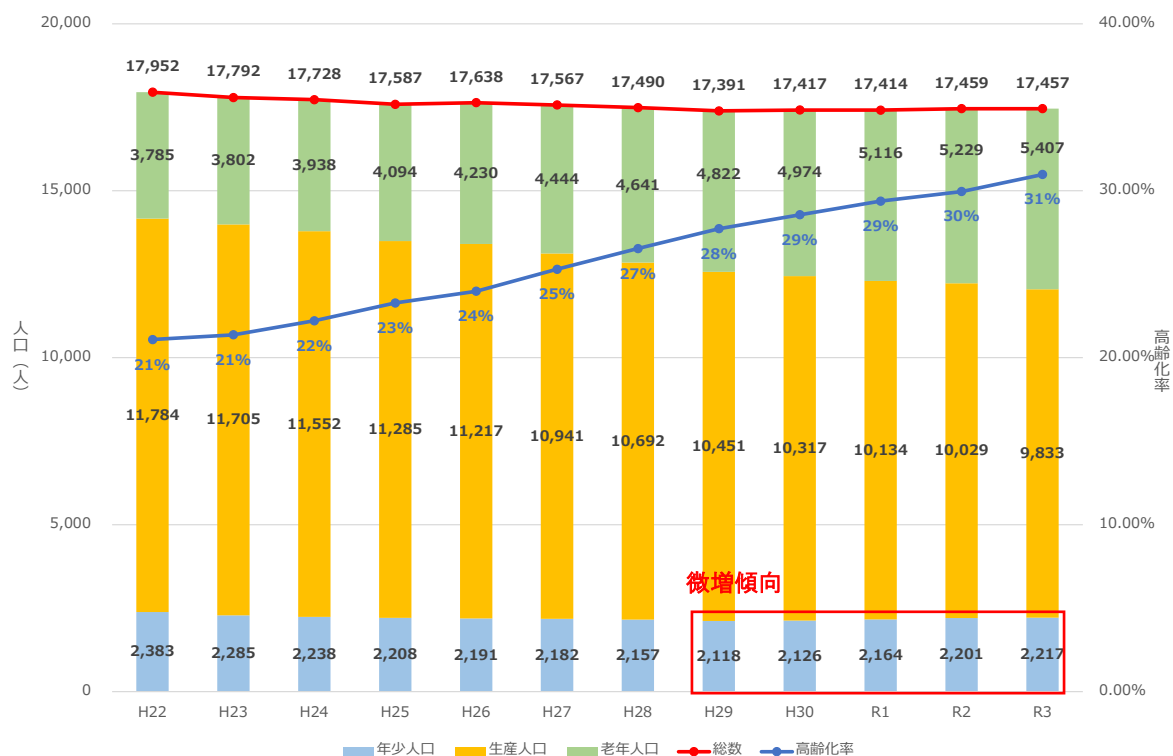


図 2-5 基山町全体の人口動向(住民基本台帳ベース)

データ:住民基本台帳  
出典:基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月)

## (2)人口分布

続いて、100mメッシュデータからエリア別の人口動向について見てみます。平成27年時点では、けやき台(平成2年までに1,420戸造成)や高島団地(昭和49年までに380戸造成)などの民間による大規模宅地開発が実施された地区に人口が集中しており、人口密度が100人/haを超えています。しかし、令和22年になると、60~79人/haにまで減少する見込みです。また、中心市街地であり利便性の高い基山駅周辺では、平成27年時点でも人口密度が低い状況ですが、令和22年になると更に人口が減少し、中心市街地の低密度化が進行する見込みです。

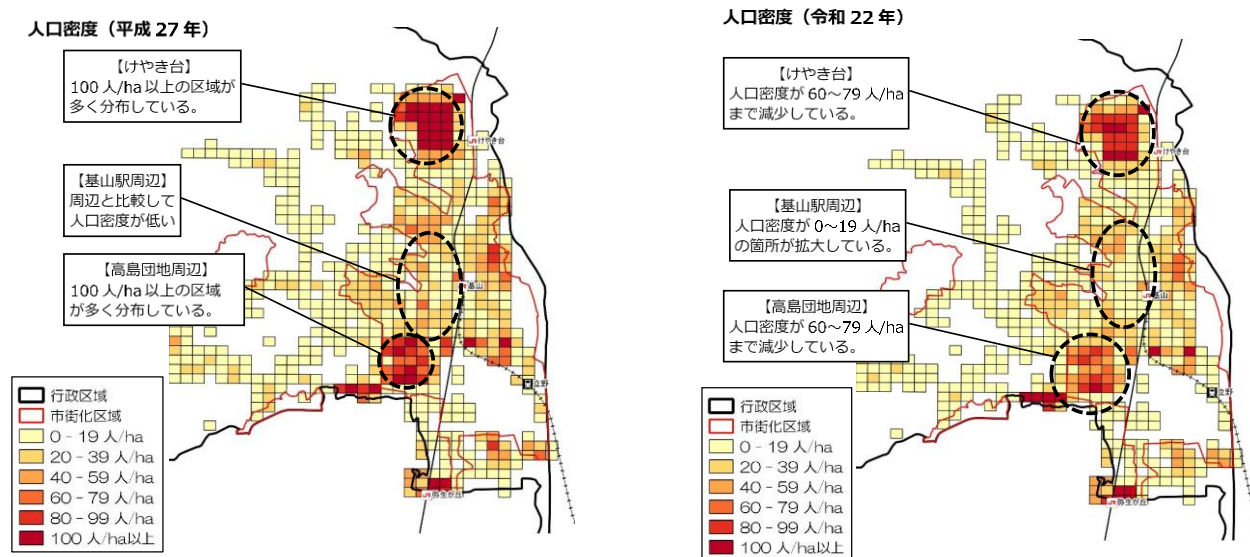


図 2-6 人口密度の比較

また、高齢化率を見ると、平成27年時点では、市街化調整区域の他、立野駅周辺や長野地区、基山駅周辺、三井きやまニュータウンなどで高齢化が進行しています。しかし、令和22年になると、町内の殆どの地区の高齢化率が30%以上となり、特に、40~50年前に集中して同世代が入居し始めたけやき台や高島団地においては、高齢化率が急激に増加することが見込まれています。

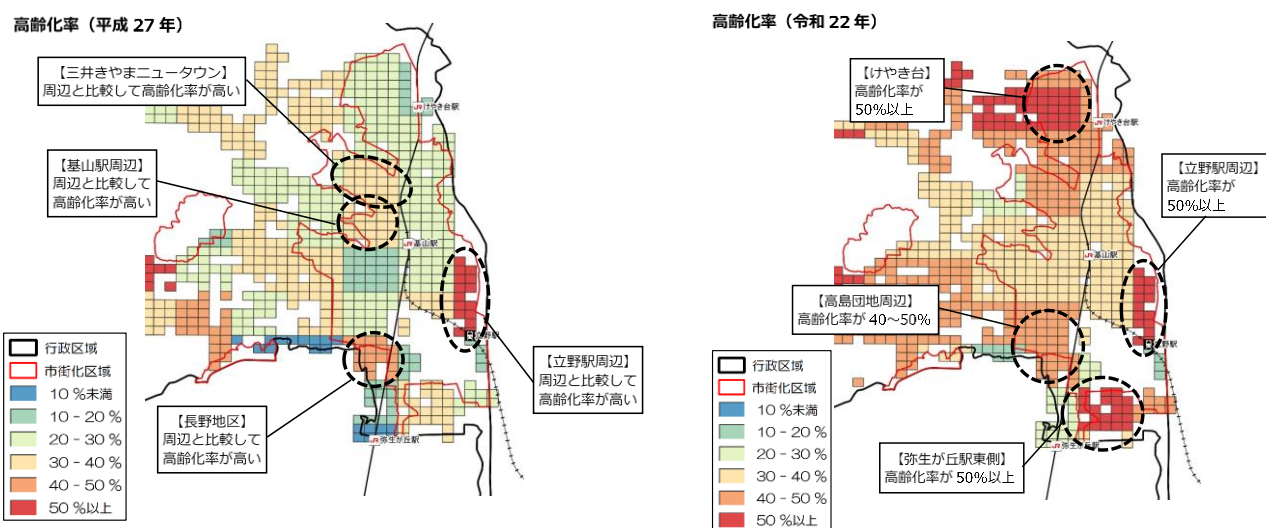


図 2-7 高齢化率の比較

データ：国立社会保障・人口問題研究所推計  
出典：基山町立地適正化計画(令和3年3月)

(3)世帯数

基山町の世帯数は平成 27 年時点で 6,321 世帯、1 世帯当たり 2.7 人となっています。

世帯数は年々緩やかに増加していますが、その中でも高齢者夫婦世帯や高齢者単身世帯の増加が顕著となっています。

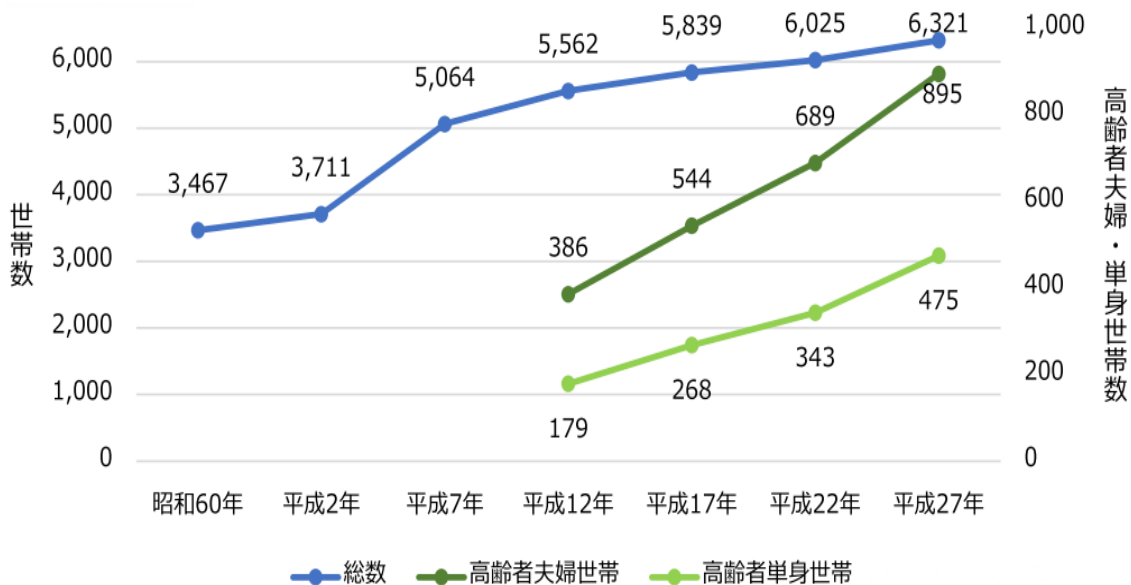


図 2-8 世帯数の推移

データ：国勢調査  
出典：基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月)

## 2.3 移動特性

### (1) 交通手段分担率

14年前(平成17年時点)と比べると、町外への通勤・通学者の増加により、自家用車利用から鉄道利用への転換が窺えますが、依然として自家用車の利用割合は約51%と最も多く、自家用車への依存度は高い状況にあります。

一方、鉄道や乗合バスなどの公共交通利用割合は約23%となっており、鳥栖市や小郡市より高い数値となっていますが、乗合バス(コミュニティバス)に限れば周辺市町よりも低い状況にあります。

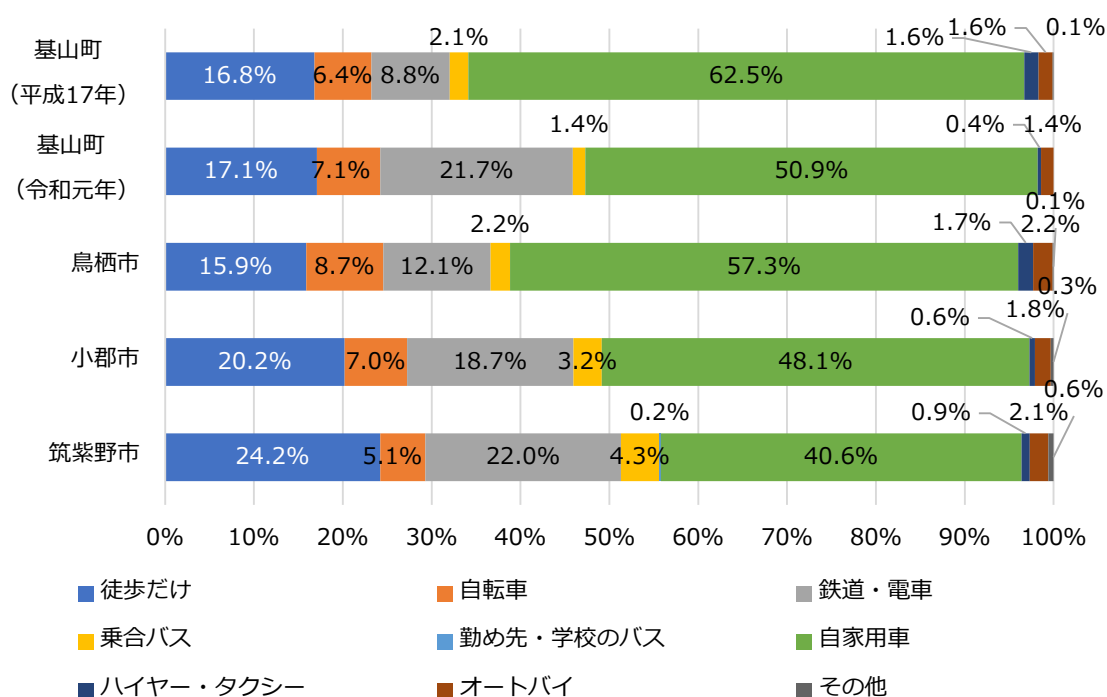


図 2-9 基山町・近隣市町の交通分担率

データ: 第4回、第5回北部九州圏パーソントリップ調査  
(近隣市町は令和元年時点)

出典: 基山町立地適正化計画(令和3年3月)

(2)通勤・通学特性

基山町から町外への通勤・通学者、および町外から基山町への通勤・通学者は、いずれも年々増加傾向にあり、町外との結びつきが強まっている状況です。基山町居住者の通勤・通学先は、隣接する鳥栖市が最も多く、次にその他の隣接市よりも福岡市が多くなっています。一方、基山町への通勤・通学者の居住地は、隣接する鳥栖市や筑紫野市、小郡市、久留米市が多くなっています。

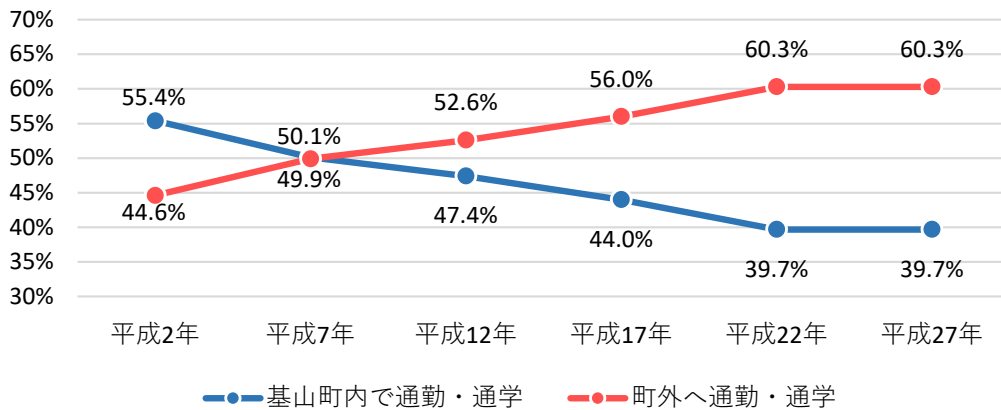


図 2-10 「基山町から」通勤・通学している 15 歳以上就業者の通勤・通学先

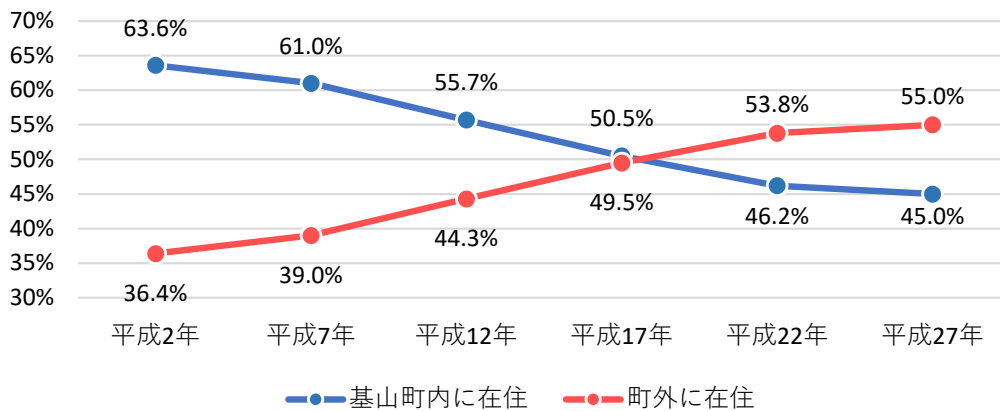


図 2-11 「基山町へ」通勤・通学している 15 歳以上就業者の居住地

データ:国勢調査  
出典 :基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月)



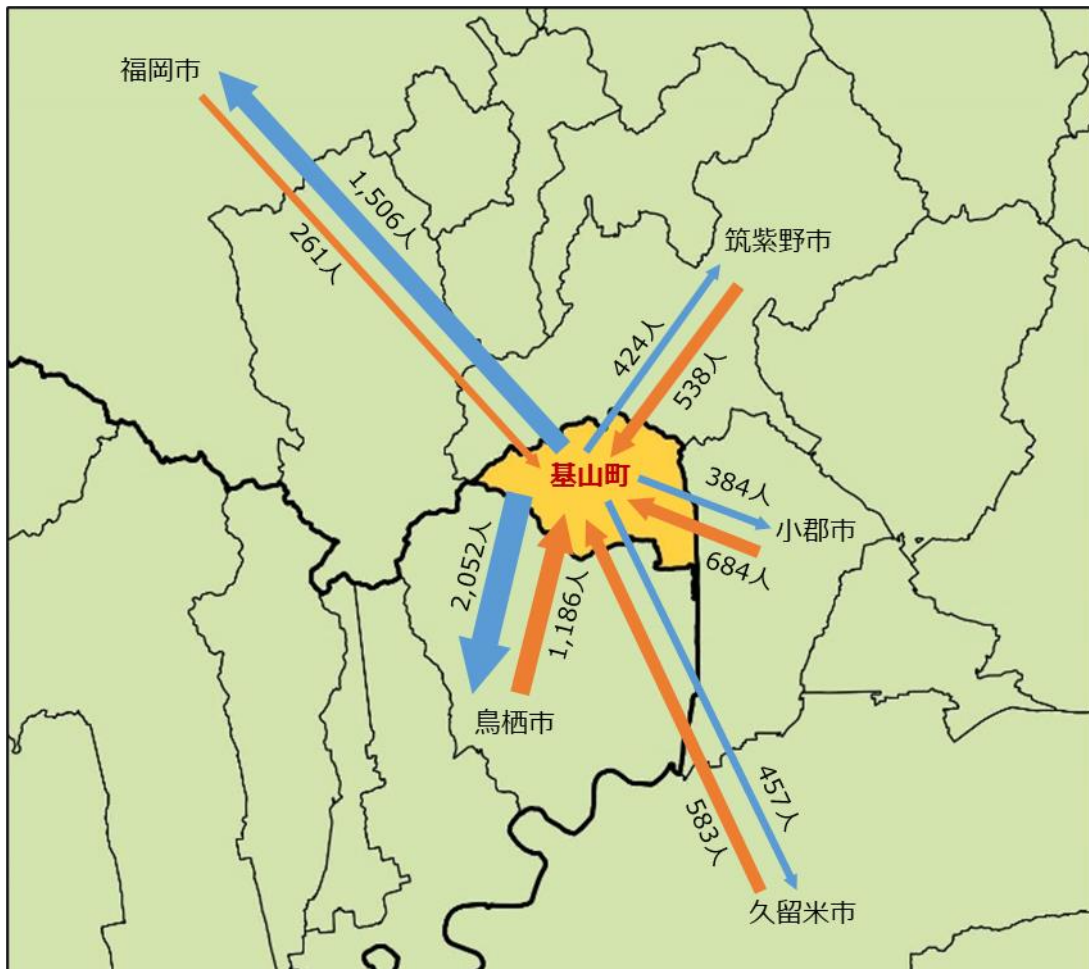


図 2-12 通勤先・通学先の分布

データ:国勢調査  
 出典 :基山町立地適正化計画(令和3年3月)

### (3) 買物特性

図 2-13 にあるように平日の買い物先は町内のスーパー・ドラッグストア、基山駅前のスーパー・商店が多い一方、休日は図 2-14 に示す通り、町外への買い物が多い傾向がわかります。また、買い物時の主な交通手段は自家用車が最も多く、9割弱を占めています。

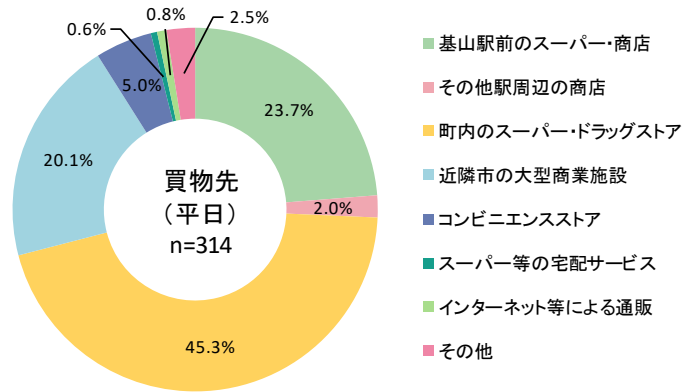


図 2-13 平日の主な買い物先

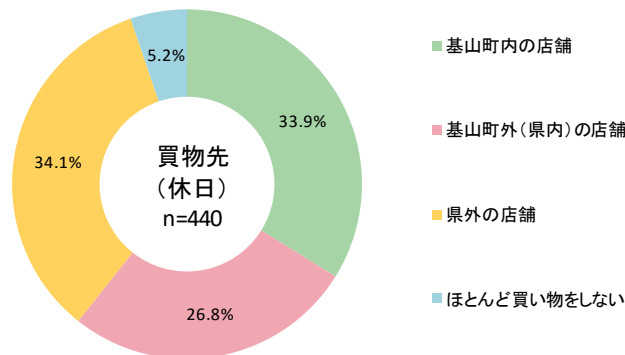


図 2-14 休日の主な買い物先

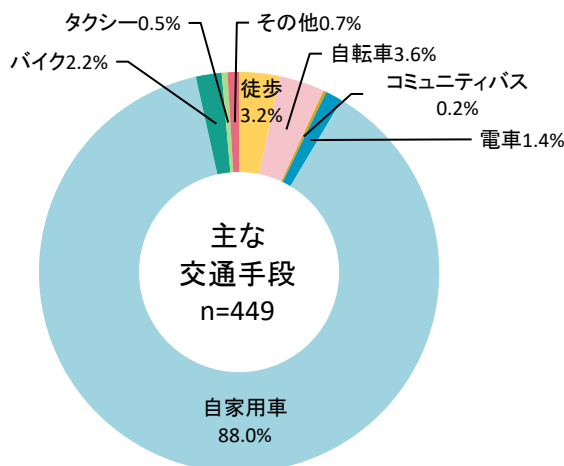


図 2-15 日常的な買い物時の、主な交通手段

出典：基山町中心市街地活性化基本計画（平成 30 年 4 月）

#### (4)外出率

基山町の居住者は、高齢になるほど外出率は減少傾向にあり、75歳以上では50%未満にまで低下しています。外出率の低下により、身体的・精神的な健康状態の悪化が懸念されます。

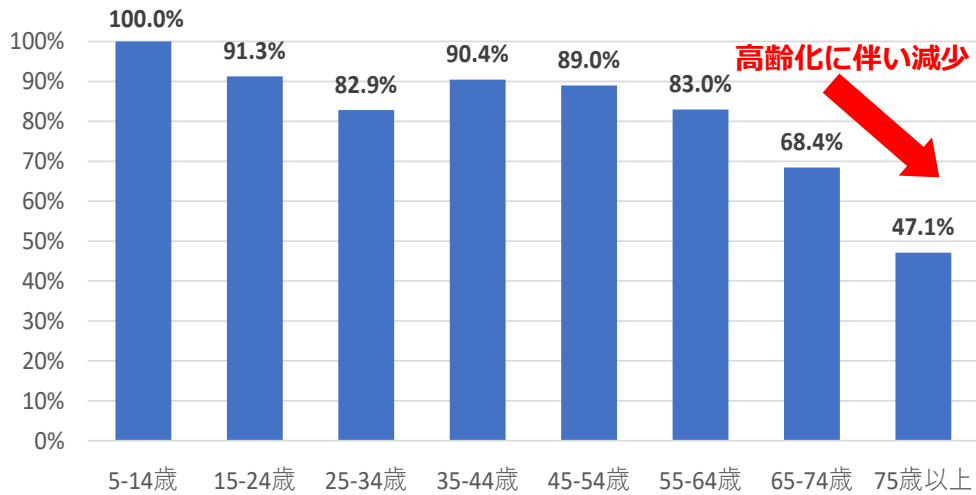


図 2-16 基山町居住者の年齢階層別外出率

出典：第 5 回北部九州圏パーソントリップ調査(令和元年)

#### 2.4 高齢者の自動車運転状況

高齢者の運転免許証の返納者数は年々増加傾向にあり、令和 2 年度には 120 人強の町民が返納を行っています。

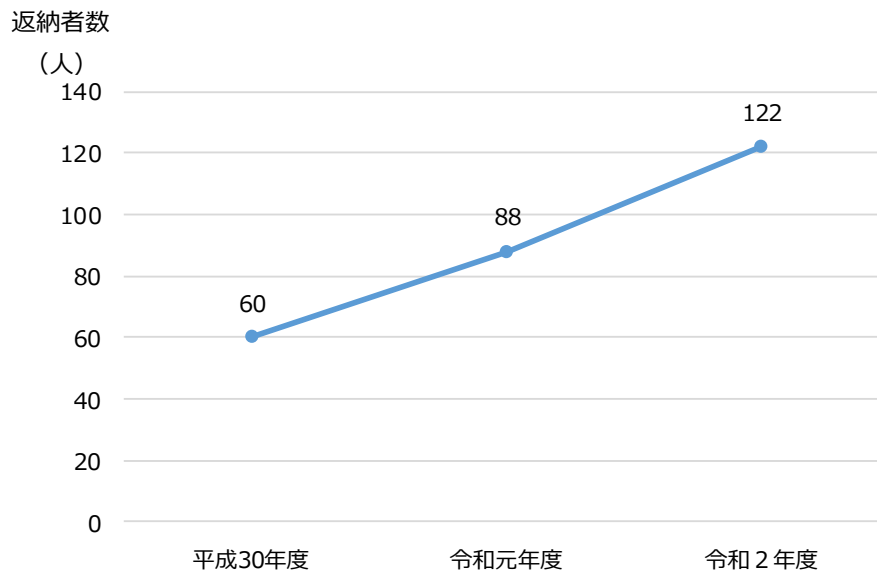


図 2-17 高齢者の運転免許証返納者数の推移

出典：基山町提供資料

## 2.5 土地利用状況

### (1) 土地利用比率

基山町全体では、田畑や山林などの自然的土地利用が全体の約 7 割、住宅用地や商業用地などの都市的土地利用が全体の約 3 割となっています。町の東側に位置する市街化区域では、JR 鹿児島本線や国道 3 号の沿線に商業用地が、立野駅西側には工業用地が集積しており、それ以外の地域は殆どが住宅用地となっています。

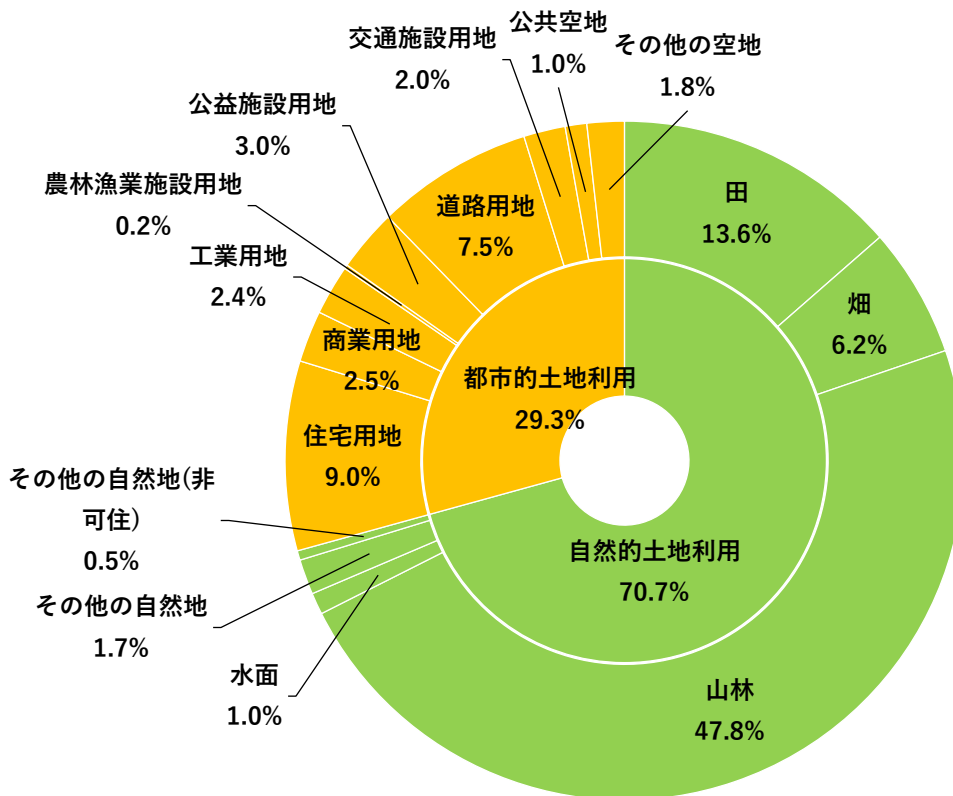


図 2-18 土地利用比率(基山町全体)

出典 : 基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月)

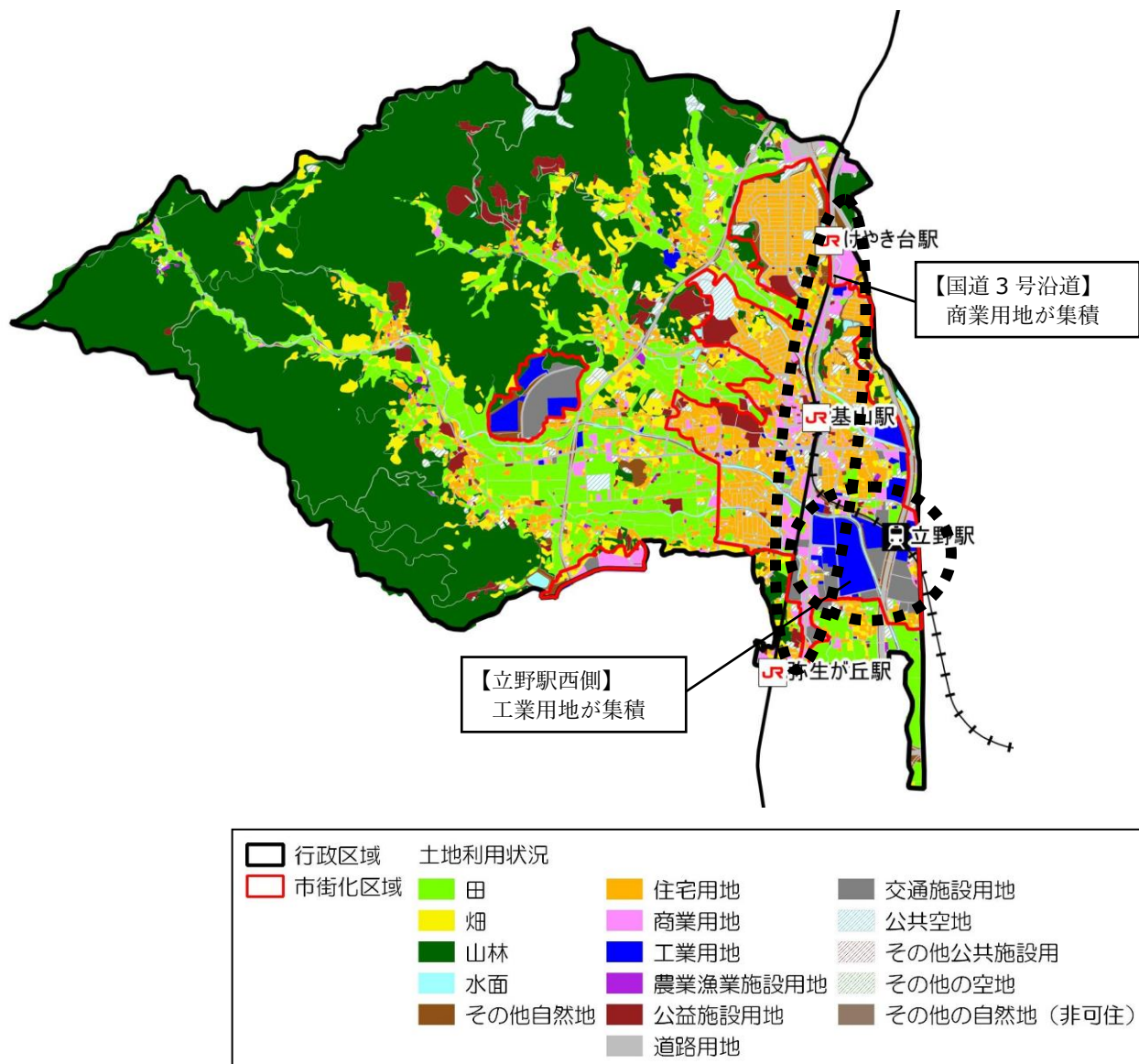


図 2-19 土地利用状況

出典：基山町立地適正化計画(令和3年3月)

(2) 基山駅周辺の低未利用地分布状況

中心市街地である基山駅周辺では、低未利用地が多い状況にあります。平成 25 年時点では基山駅の北側にまばらに分布している程度でしたが、平成 30 年には基山駅の南側にも拡大しています。

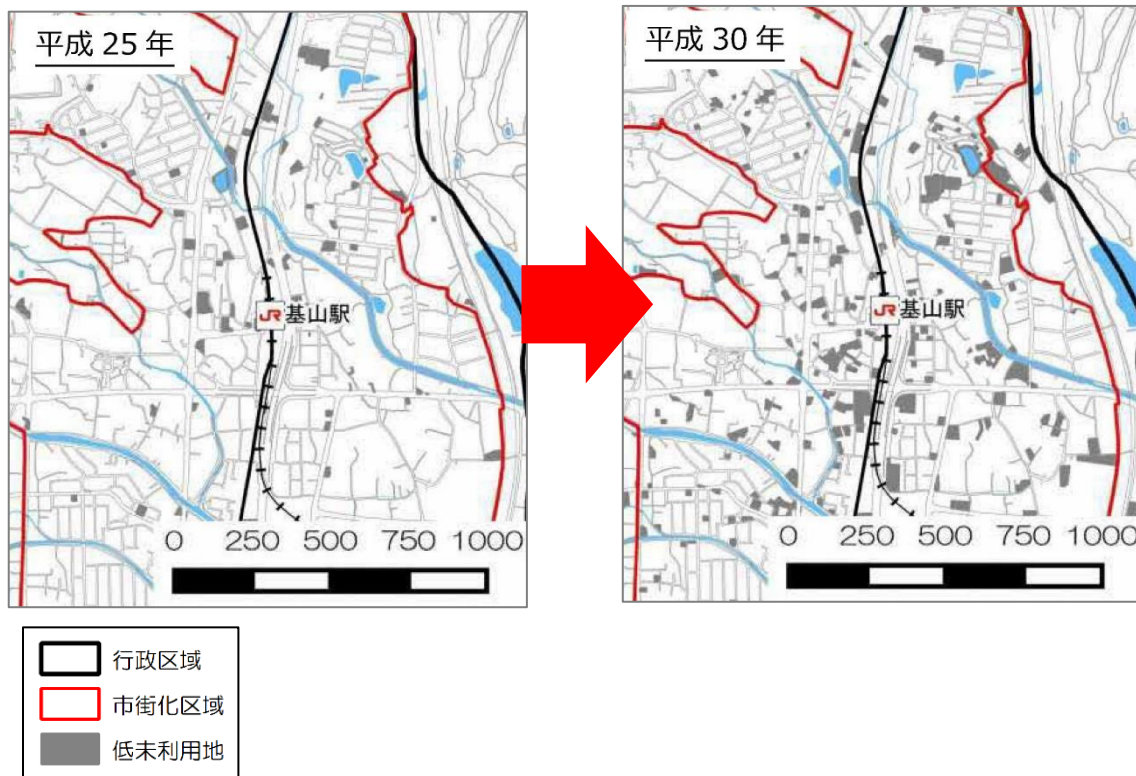


図 2-20 基山駅周辺の低未利用地分布状況

※低未利用地：空き地、青空駐車場など

出典：基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月)

## 2.6 主要施設立地状況

### (1) 商業施設

図 2-21 に示すように基山駅周辺にはスーパーやコンビニ等が立地しているほか、高島団地付近にスーパーやドラッグストアが集積しており、町内を南北に縦断するけやき通りや国道 3 号に沿って商業施設があることがわかります。



図 2-21 商業施設の立地状況

データ: 基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月)  
をもとに作成

### (2) 商店街

基山駅の近隣に立地している「基山モール商店街」の来客者数は、保育園の開園(平成 28 年)や児童発達支援・放課後等デイサービス施設の開業(平成 29 年)、ダンス教室の開業(平成 29 年)、医療モールの開業(平成 30 年)などによって、平成 26 年から令和 2 年までの 6 年間で約 2 倍に増加しています。

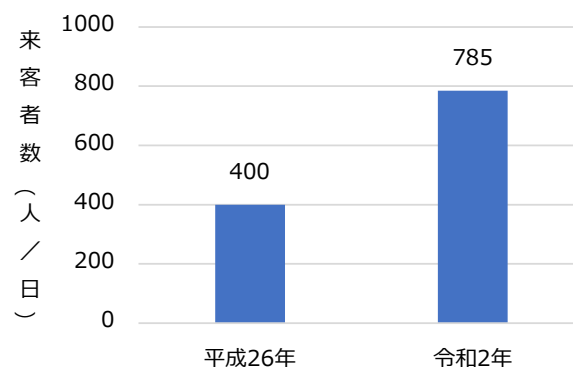


図 2-22 「基山モール商店街」の一日当たり来客者数

出典: 基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月)

### (3) 医療施設・高齢者福祉施設

病院(病床 20 床以上の医療施設)は町内に 1 施設(きやま高尾病院)のみですが、そのほかに医院や診療所、高齢者福祉施設は町内各所に点在しています。



図 2-23 医療施設・高齢者福祉施設の立地状況

データ: 基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月) をもとに作成

### (4) 公共施設・教育施設

役場を中心に町立の基山小・中学校、若基小学校などの教育施設や基山町多世代交流センター憩の家などの公共施設が点在しています。



図 2-24 公共施設・教育施設の立地状況

データ: 基山町立地適正化計画(令和 3 年 3 月) をもとに作成



## 2.7 観光特性

本町の観光・レクリエーション施設及び社寺・歴史資源の多くは町の西側と北側に集積しており、また、紅葉やつつじで著名な大興善寺などの社寺仏閣は西部の山間部に位置しています。

観光客数は昭和 62 年以降、年間 30 万人前後で推移しています。町内には宿泊・合宿的施設が少ないため、県内の他の市町村に比べて日帰り観光客が多く、福岡県と佐賀県からが約 6 割、その他の九州各県からが約 3 割を占めています。さらに、町内来訪時の交通手段としては自家用車利用が約 5 割と最も多く、次いで鉄道利用が約 3 割となっています。

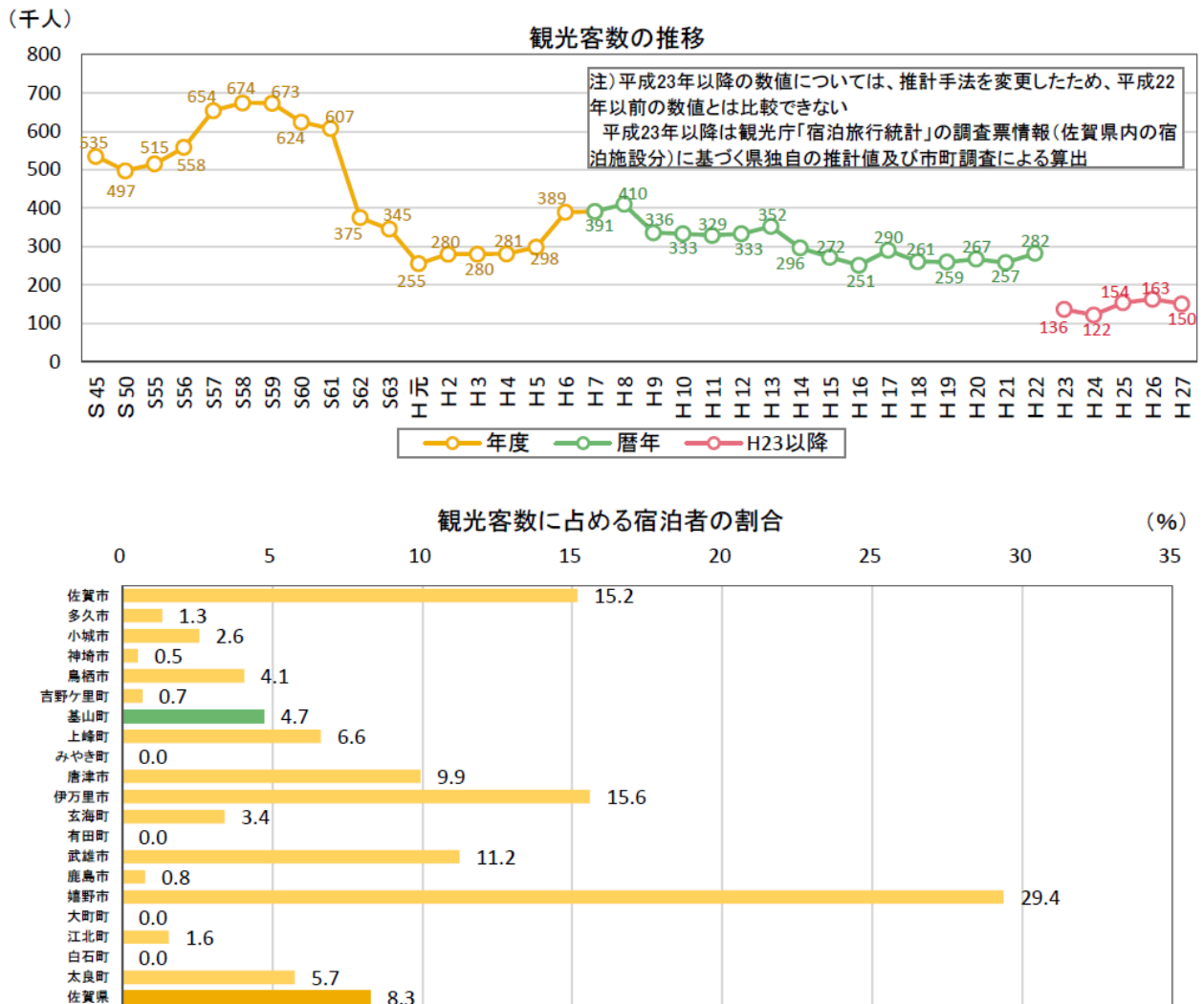


図 2-25 観光施設の立地状況

データ:佐賀県観光動態調査

出典:基山町中心市街地活性化基本計画(平成 30 年 4 月)

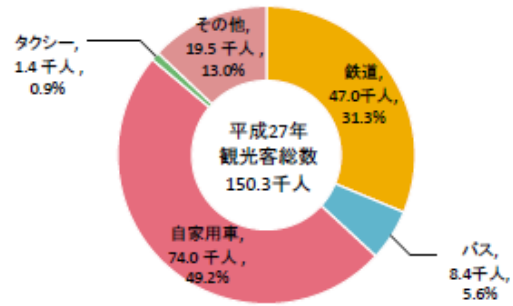
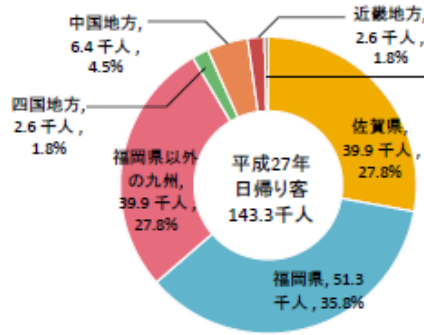
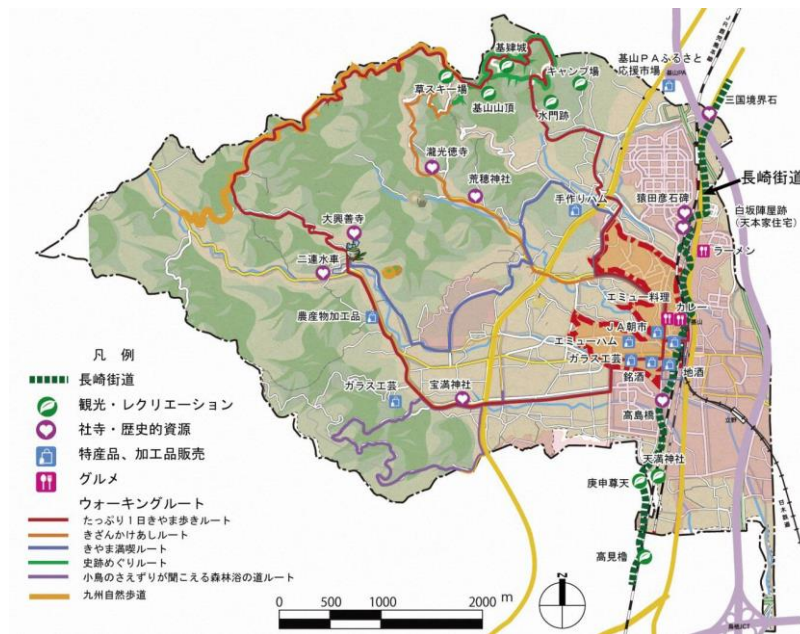


図 2-26 本町の日帰り観光客の発地(平成 27 年) 図 2-27 本町の観光客の利用交通手段(平成 27 年)

データ:佐賀県観光動態調査

出典:基山町中心市街地活性化基本計画(平成 30 年 4 月)



▲基肆城跡



▲基山山頂



▲大興善寺(つつじ祭)



▲草スキー場



▲水門跡



▲荒穂神社



▲大興善寺(もみじ祭)



▲キャンプ場

図 2-28 歴史・文化資源及び観光・レクリエーション資源の立地状況

出典:基山町中心市街地活性化基本計画(平成 30 年 4 月)をもとに作成